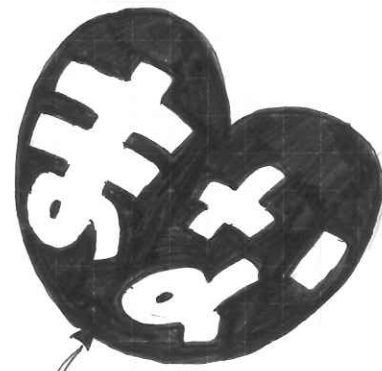


バンクシー
赤い風船と少女
あか ふうせん しょうじょ

11/24 ~ 11/30



なまえ
名前

11/24 ペリシテハのさばきの予言
(げんご) ① おいのり → ② エレミヤ 47:1, 2, 5

ペリシテ人は
うじからせめてくる
バビロンによって
ほろぼされる



ほろもの 神さまだけが世界のすべてを
ごしはい しています

③ イエスさまの十字架をしんじてたくさん
のうがさばきの死からすくわれますように

11/25(火) 「神様により頼む」

■ エレミヤ48:7を読もう ■

外国の国々に対する神様の預言のことばだ
よ。「おまえ」とはモアブの国のこと。モアブ
は神様を信じずに、自分が作ったもの＝
偶像や財宝を信じ信頼してしまった

ケモシュとは彼らの偶像の神の名前。ここ
ではモアブの国が、そしてモアブの偶像も、
神様は捕えて滅ぼしてくださるという約束
がされてる。日本には沢山の偶像がある。そ
れらを見ると、気持ち悪く感じるその
直感を大切にね。神様以外の神様だとさ
れるものを見ると、そう感じるのは当然
のこと。だから、私たちはいつも神様だけに
より頼んでいきたいね

お祈り：今日も神様に信頼します！アーメ
ン！

11/26(水) モアブの高ぶりの

エレミヤ 48:26-30

モアブはイスラエルのとりの国だよ。

26-30せつにはモアブが神さまに
高ぶったことが書かれているね。

29-30せつに、「高ぶり」が色々なことばで
書かれているけど、イコイコ見つけられるかな？

さがして かいてみよう！

わからないことばは 辞書でいみをしらべてみよう

高ぶるとはどんなことだろう？ それは、神さまも
自分の方が正しいと思うじや、神さまにたよることも
平気だし、神さまは必要じゃないとするたいどなんだ。
高ぶること、いじも低くすなおになって、神さま
に ききしたがおう！！

11/27(木) アンモンとエドム

エレミヤ 49:4, 16

今日 読んだ みことばは、アンモンとエドム

について 神さまが 語られた ことばだよ。

2つの国はイスラエルの兄弟のような国だけれど、
彼らは神さまの前、高ぶって 罪を おかしていった。

④ アンモンは自分の
により頼んでいて、

⑥ エドムは、高い場所に住んでいるから
自分は 大丈夫 と思っていた。

でも、ざいほうも、高い場所も、本当に自分たちを
守ってくれるものではなかったんだ。

★ 神さまは、わたしに 信頼するようにと 語っ
ておられるよ。今日も 書を 守って くださる神さま
を 頼って、心に いることばを おいのりしよう。

11/28 神さまの支配

(きんご) ① おいのり → ② エレミヤ 49:38

イスラエルの民は、バビロンがエルサレム
への攻撃をやめるために、エラムが
バビロンを攻撃することを 望んでいたよ。
でも、神さまはエラムの滅亡を言われたよ。
エラムが滅亡したのは、神さまに
よることだったよ。

大きな国が栄えるのも、
滅亡するのも、神さまの
支配の中にあることだよ。
今も、神さまが 全世界を支配しておられるよ。

③ 全世界を支配しておられる
神さまに、今日も 信頼します。

11/29(土) バビロンとイスラエル

— 永遠の契約によって —

① おいのり → ② エレミヤ書 50:17-20

わ た し が 救 う す か ら た だ	わ た し が 残 す 者 を	ユ ダ の 罪 も 見 え か ら な い	イ ス ラ エ ル の 咎 を 探 し て も	主 の こ と は	20 せ つ そ の 日 、 そ の 時
---	--------------------------------------	---	--	-----------------------	---

罪のゆるし、それはイエスさまによって 実現したことを
ほめて、わたしはしているよ。そして 再臨 として
やめてこの地上に ころれることも。(ほめて、わたしたちの
希望はイエスさまにあるように、イスラエル民族に対する
最終的な希望が約束されているんだね！)

① おいのり ② いまも これからも
主の約束は かならず そのとおりになることを
心に ためて すこすことばを いてきますように。

11/30(日) 『闇の中に輝く光』



【イザヤ書 9:2 節と 6 節】

闇の中を歩んでいた民は大きな光を見る。ひとり
のみどりごが、私たちのために生まれる。

★ アッシリアの脅威がユダにも迫っていました。しかし、

ユダの王さまや民たちは、神さまに背を向けている

状態でした。こんな時に、神さまはイザヤさんを通して、

2節・6節の「希望のメッセージ」を民に告げたのです。

★ 希望のメッセージ — それはまさに、闇を破る救い主

の誕生のことでした。このメッセージを、心の中にしっかりと



握りしめていきましょう。お祈り

救い主イエスさまを感謝します。